

平成 29 年度

## 岐阜県における児童生徒の学習状況調査の結果について

多治見市教育委員会

平成 30 年 1 月に小学 4・5 年生と中学 2 年生を対象とした調査が実施されました。  
なお、実施対象学年における多治見市全体の傾向は、次のとおりです。

### 【小学校 第 4 学年】

1 実施教科 国語，社会，算数，理科

### 2 学力調査の結果より

4 教科（国語，社会，算数，理科）の平均正答率は、ほぼ県と同等といえます。国語がわずかに下回っていますが、その他の教科は若干上回っています。

各調査結果から今後付けたい力として、以下のものを挙げることができます。

【国語】自分の考えなどを、指定された条件に合うように書きまとめられるようにすること

【社会】資料について正しく説明しているものを吟味できるようにすること

【算数】正しく四則計算したり、式の意味について説明したりすること

【理科】観察、実験方法等の基本的な技能や、結果から考える力を身に付けること

### 3 質問紙調査の結果より

質問紙調査において県の傾向とは異なった結果から主なものをまとめると、以下のよう  
なことがいえます。

#### <学習習慣>

- ・学校の宿題にはきちんと取り組んでいます。一方、「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で予習・復習をしている」割合は、比較的低い傾向にあります。
- ・話を最後まで聞く習慣は概ね身に付いてきています。友達の前で自分の考えや意見を発表することに苦手意識があるようです。

#### <生活習慣>

- ・概ね学校のきまりは守ろうとしています。一方、「家での約束ごとについて家の人と話したことがある」と答えた子の割合は、県の結果を下回っています。
- ・「学校に行くのは楽しいと思う」と答えた子の割合は、県の結果をやや下回っています。
- ・地域の行事やボランティア活動へ参加したことがあると回答した割合は、県の結果を大きく下回っています。地域行事やボランティア活動に参加することの意味を家庭でも教えたり、参加したことを価値付けたりすることが、お子さんの自己肯定感につながります。

## 【小学校 第5学年】

### 1 実施教科 国語，社会，算数，理科

### 2 学力調査の結果より

4教科（国語，社会，算数，理科）の平均正答率を県の平均正答率と比較すると，理科以外はわずかに下回っていますが，ほぼ同等の結果といえます。

各調査結果から今後付けたい力として，以下のものを挙げることができます。

- 【国語】自分の考えなどを，理由を明らかにして書きまとめられるようにすること
- 【社会】グラフなどの資料を正しく読み取ったり，分かることを説明したりすること
- 【算数】割合の意味を理解し正しく立式したり，式の意味について説明したりすること
- 【理科】観察，実験方法等の基本的な技能や，事象の意味について説明する力をつけること

### 3 質問紙調査の結果より

質問紙調査において県の傾向とは異なった結果から主なものをまとめると，以下のようなことがいえます。

#### <学習習慣>

- ・学校の宿題にはきちんと取り組んでいます。一方，「家で予習をしている」割合は，県と比較するとやや低い傾向にあります。
- ・話を最後まで聞く習慣は概ね身に付いてきています。友達の前で自分の考えや意見を発表することや，自分の考えを文章に書いたりすることに苦手意識があるようです。

#### <生活習慣>

- ・「自分にはよいところがあると思う」と答えた子の割合は，県の結果を上回っています。
- ・「学校に行くのは楽しいと思う」と答えた子の割合は，県の結果をやや下回っています。
- ・地域の行事やボランティア活動へ参加したことがあると回答した割合は，県の結果を大きく下回っています。地域行事やボランティア活動に参加することの意味を家庭でも教えたり，参加したことを価値付けたりすることが，お子さんの自己肯定感につながります。

## 【中学校 第2学年】

### 1 実施教科 国語，社会，数学，理科，英語

### 2 学力調査の結果より

5教科（国語，社会，数学，理科，英語）の結果は，県の平均正答率と比較すると，ほぼ同等の結果といえます。数学については，県を大きく上回っています。英語については，昨年度と比較し，改善傾向が見られます。

各調査結果から今後付けたい力として，以下のものを挙げることができます。

【国語】学んだ漢字や語句を積極的に用い、適切に使えるようにすること

【社会】基礎的・基本的な知識を確実に身に付けること

【数学】数学的な表現など、基礎的・基本的な知識を十分理解し、使えるようにすること

【理科】実験や観察から得た結果を比較したり関係付けたりして考えること

【英語】英語を聞き取ったり、複数の英文で書いたりすること

### 3 質問紙調査の結果より

質問紙調査において県の傾向とは異なった結果から主なものをまとめると、以下のようなことがいえます。

#### <学習習慣>

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で予習をしている」割合は、低い傾向にあります。
- ・授業の中で分からないことをそのままにせず、概ね解決することができています。
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することに苦手意識があるようです。

#### <生活習慣>

- ・「自分にはよいところがある」「将来の夢や希望を持っている」と答えた割合は、小学生と比べ低い傾向にあります。
- ・地域の行事やボランティア活動へ参加したことがあると回答した割合は、県の結果を大きく下回っています。地域行事やボランティア活動に参加することの意味を家庭でも教えたり、参加したことを価値付けたりすることが、お子さんの自己肯定感につながります。

以上のように、今回の調査における多治見市の児童生徒の学力は、県の結果とほぼ同等といえます。一方、学習習慣や生活習慣については、改善すべき課題もあります。

ご承知のように、児童生徒の「学力」と「学習習慣」・「生活習慣」は、相互に密接に関係しています。“よい習慣を身に付ける”ことは、学力向上のみならず、自己肯定感や自尊感情の育ちにもつながっていきます。

本市においては、今後も、多治見市型幼保小中一貫教育『習慣向上プロジェクトたじみプラン』に基づき、生活習慣・学習習慣の向上を図るとともに、子どもの自立「子育て」を支える教育の推進に努めてまいりますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。